

## 新卒生

支部長 笠井 ひで子 (昭 44 年卒)

10 年前、東京支部では、同窓会の輪を若い世代につないでいくために様々な新しい活動を始めました。新会員を迎えるウェルカムパーティー、オリジナル一筆箋の販売、そして山形の同窓会入会式での支部紹介、新卒生の総会への招待などです。

同窓会入会式は毎年 3 月 1 日に行われる卒業式の前日に、嚶鳴会館の和室で行われます。卒業生の入会を祝い、クラス幹事を委嘱し、目覚ましい活躍をした生徒の表彰もあります。和室に制服姿でぎっしり座った生徒たちは本当に凛々しく、はち切れそうなエネルギーに満ちています。きびきびと折り目のある立居振舞や堂々たる挨拶、自分たちが生徒の時こんなにしっかきしていたのだらうかと、圧倒される思いです。

総会で新卒生と再会した時、またびっくりさせられます。見かけはまるっきり今時の女の子に変身しています。会場中央付近の新卒生たちのいるテーブルは久しぶりに会った歓声に包まれ、ひとときわ輝くエリアになります。

きれいに盛り付けられたお料理を撮影して親御さんにメールで送ったり、同席の友達や大先輩たちとの会話を楽しんだりしている様子がほほえましいです。

実は私たちの学年も卒業した年に支部総会に招待されました。45 年前ですから現在の形のもととなる大宮先生、神尾さんの体制ができる前のことです。有楽町の交通大飯店が会場だったことは覚えていますが、会の内容は全く記憶にありません。

今年は何人の会員、新卒生が参加していただけるのでしょうか。総会の内容は忘れても、同窓生のこのような集まりがあり、顔を合わせて笑い、おしゃべりすることでやすらぎと刺激が得られることを一人でも多くの方に知っていただければと思います。嚶鳴の仲間は、個性的で活発で、そして他の個性を受け入れる寛容さを持っています。

また総会で皆様とお会いできるのを楽しみにしております。

## 頭は柔らかく、心は広く、愛は深く

中村 孝子 (昭 32 年卒)

平成 23 年、東日本大震災で日本中が不安で沈んだ空気が漂っていた頃、こんな時だからこそ集いましょうと同窓会の案内が届いた。笠井支部長の言葉「あなたの笑顔に会いたい」に心惹かれた。そうよ、会いたい人に会っておかなければと、ぐずぐずして何年も欠席している私がすぐに出席の返事を出していた。

同窓会当日、怖ず怖ずと会場に足を運んだのもつかの間、懐かしい声に一瞬にして西高時代に戻った。山形弁丸出しにして昔話に笑い転げていると、突然「あなた、手話をやっていたよね。」と同級生の凛とした声。

あれから 4 年、私はずっと同窓会で手話歌を続けさせて頂いている。「故郷」の歌が流れれば、山形の緑の山々や最上川を思い、「今日の日はさようなら」が流れれば、来年も元気で再びここに集えますようにと祈り、指先や身体に気持ちを投入する。私が

所属する手話グループのモットー「頭は柔らかく、心は広く、愛は深く」を胸に……。 「あなたの手話はおおらかでいいね。もうあなたは同窓会を休めないよ。」この言葉は私の宝物になった。

そして昨年は、総会参加者約 300 人の中で私だけが頂いたプレゼントがあった。手話を必要とする出席者の方に、舞台の上から「大丈夫ですか？」と手話で語りかけると「OK」のサイン。やや緊張気味だった私の方が元気づけられたのである。本当にありがとう。

手話は、遠く離れていても雑踏の中でも、意志を伝えあうことができる。語彙が足りない面は、表情や身振りで補うこともできる。本当に便利だ。手話を身につければ、表情豊かな国際人になれるかもしれないのである。皆さんも手話をやりませんか？

これからも、頭は柔らかく、できることはできる範囲で、困難なことも受け止めていきたい。

今年度の支部総会の準備は昭和63年度卒が担当させていただきます。卒業以来の再会ですから、軽く四半世紀以上は経っているはず。それでもあの頃の愛称で呼びあい、西高カラーの滲む雰囲気に心地よく浸りながら、先輩方のご指導のもと、準備を進めています。

当日は長岡信也先生にお越しいたします。昭和50年から63年の13年に渡り西高で教鞭を取られました。ダンディでスマートな佇まいと、厳しくも熱心な指導にファンも多かった長岡先生。どんなお話が伺えるのか楽しみです！

またエンターテイメントは、準備学年である63年度卒の浦山ひろ美さんによる『JAZZ のひととき』です。明るいパーソナリティーも魅力の浦山さんは、ジャズシンガー・ボイストレーナーとして山形県内を中心に活躍中です。

そして今回も東京嚶鳴女声合唱団の美しいハーモニーをお楽しみ下さい。

準備学年一同、このような再会の機会を得られた事にただただ感謝しつつ、来て良かったと思って頂ける会にできるようにがんばってまいります。

**平成26年度 活動報告**

1月 22日	新旧役員会・監査・引継ぎ
2月 12日	第1回評議員会/役員・総会準備学年(62年卒)会
28日	東京支部プレゼンテーション(本部同窓会入会式にて)
4月 7日	総会準備学年打ち合わせ・案内状準備
9日	第2回評議員会/役員・準備学年会
19日	第9回ウェルカムパーティー(於:サンダングロ)
5月 14日	第3回評議員会/役員・準備学年会
31日	総会準備最終打ち合わせ(於:ホテルオークラ東京)
6月 8日	嚶鳴同窓会東京支部総会
18日	役員会
25日	第4回評議員会/役員・準備学年反省会
10月 28日	総会準備学年引継ぎ会(62年卒から63年卒へ)
11月 12日	役員会
16日	嚶鳴同窓会本部総会

**平成27年度 役員**

東京支部長 笠井ひで子 (昭44年卒)	顧問 遠藤 倭久 (昭30年卒)
副支部長 四津 明美 (昭54年卒)	" 田中 克子 (昭32年卒)
" 元木 文緒 (昭57年卒)	
庶務 川田まき子 (昭47年卒)	
" 鹿野 由貴 (昭48年卒)	
会計 三摩亜紀子 (昭59年卒)	<b>平成27年度 総会準備学年</b>
" 曾我 淳子 (昭60年卒)	代表 川名 睦子 (昭63年卒)
広報 田中 由紀 (昭60年卒)	出口 香
監査 平川 範子 (昭53年卒)	木村 東美
" 岡田スミ子 (昭30年卒)	青木 潤子

◇ 庶務・会計は、学年の順送りとなっており、当該学年より推薦されます。顧問・監査については、支部長が選任いたしました。

**お知らせ**

- ◇ 住所や姓が変わられた方は、eメールで手続きができます。
- ◇ ホームページに情報の掲載を希望される方、一筆箋やはがきの購入申し込みをされる方も、eメールをご利用ください。

dousoukai@oumei.jp

※ 迷惑メールとの混同を避ける為、件名に「同窓会連絡」とご記入下さい。

- ◇ 嚶鳴同窓会東京支部 Facebook ページを開設しました。Facebook への登録をしなくても、お気軽にご覧いただけます。  
<https://www.facebook.com/oumeitokyo>

**平成26年度 会計報告**

支部長 笠井ひで子  
会計 庄司真理  
三摩亜紀子

**<一般会計>**

1.収入の部	
前年度より繰越	1,738,231 円
年会費	1,027,000 円
総会会費	2,655,000 円
特別会計より新卒生総会参加費補助	30,000 円
本部より助成金	150,000 円
ご祝儀	70,000 円
雑収入	389 円
計	5,670,620 円
2.支出の部	
会議費	160,062 円
印刷費	78,954 円
事務用品費	54,242 円
通信費	243,998 円
渉外費	98,150 円
役員等活動費	140,000 円
事業費	
総会	2,941,885 円
ウェルカムパーティー	32,600 円
東京支部プレゼンテーション	2,700 円
ホームページ	5,973 円
計	3,758,564 円
3.差引残高	1,912,056 円
*1月~6月の運営費として、平成27年度へ繰り越し	

**<特別会計(一筆箋・はがき)>**

1.収入の部	
前年度より繰越	300,573 円
一筆箋売上げ	65,500 円
はがき売上げ	23,750 円
寄付	5,050 円
口座利子	75 円
計	394,948 円
2.支出の部	
新卒生総会参加費補助として一般会計へ	30,000 円
計	30,000 円
3.差引残高	364,948 円

**<監査報告>**

帳簿・領収書等を照合の結果、適正に行われていることを認めます。

監査 小林美穂子  
平川 範子